

# 東日本大震災・被災支援ネットワークから(2)



2014年3月12日南光台キリスト教会にて  
前段右から3人目がブルークバイル氏

## 続 復興・被曝と祈りの力

日本基督教団仙台市民教会 主任担任教師  
仙台キリスト教連合 被災支援ネットワーク 事務局長  
特定非営利法人 被災支援ネットワーク・東北ヘルプ 事務局長

川上 直哉

今春、貴「朝祷」誌に「復興・被曝と祈りの力」と題した拙論を掲載いただきました。そこから生まれた祈りに、どれほど励まされたことでしょうか。心から感謝申し上げます。あれから、数か月が過ぎました。今、被災地・被曝地はどうなっているのでしょうか。

阪神淡路・中越能登の震災で確認されたことがあります。それは、「5年目が一番つらい」ということです。復興が進むにつれて、被災地への関心の風化が進み、取り残される人々の痛みが昂進する。そのピークが、「5年目」だそうなんです。

確かに、そのピークに向けて進んでいる気がします。仙台でも復興

公営住宅の造成・入居が本格化しています。仮設住宅が終わる、そのことが、現実味を持ち始めています。被災が終わる。そして、取り残される人々が不安に苛まれています。そして、復興の喧騒の中で、その人々の呻吟はかき消されています。それは、隠された痛みなのです。

被曝の問題は、不気味さを増しています。福島県の県境の内・外で、まったく別世界が広がっています。福島県内では、今でも膨大な数の方々が、被曝を防ぐべく腐心しています。しかし、宮城・栃木・茨木・岩手・千葉・埼玉・東京では、そうした意識は極めて稀です。放射性物質による汚染は県境をやすやすと越えて広がっているはずなのに！です。

た祈禱会に参加してくださいました。同氏は関東および東北の各地を視察した最後の夜でした。その顔に「沈痛」の色を隠さず・隠せず、という様子でした。同氏はドイツで記者会見を行い、「官民挙げて」現実を無視しようとしている日本の様子をショックを覚えた、語りました。

政府を倒せば、この問題は解決するのか。アメリカが悪いのか。グローバル経済が、資本主義が悪いのか。さまざまな議論が飛び交っています。しかし、福島とその周辺を巡り歩き、そこで供される食事をいただきながら、私は確信します。「誰か」を打倒しても、問題は何も解決しない。目に見えない不安が、私たちにささやきます。「無視しよう、忘れよう、先送りしよう」。でも、そうやって原発の問題は膨れ上がり、そして破裂したのではなかったか。そして爆発事故の後、膨

大な汚染と手つかずの現場を残して、また同じ轍を、踏もうとしている。今、マタイ6:6が新鮮に響きます。

「あなたは祈る時、自分の部屋にはいり、戸を閉じて、隠れた所においてになるあなたの父に祈りなさい。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。」

隠れた事柄は、神様の前に明らかです。私たちは、今こそ、祈りを必要としています。すべてをご存じの神に、お答えいただくために。

喧騒にかき消される呻吟、不気味に静まり返った被曝地。今、全国の祈りを求めたく思います。祈りの手を、どうぞお上げください。

### 各地の朝祷会より

- 〈新設朝祷会〉長崎大村朝祷会
- 〈再開朝祷会〉米子朝祷会
- 〈名称変更〉富士朝祷会
- ↓富士・富士宮朝祷会

●朝祷会全国連合一覧について変更がありました。上尾朝祷会と大久保朝祷会の世話人である飯田潔氏の電話・ファクス番号：(正)048-773-4034(共通) ●先月6月号の朝祷誌、2ページの原稿中、4段目15行目にある太田先生のお名前に誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。(正)太田俊雄先生

### 編集後記

全国大会〈新発田・新潟〉も大きな恵みの中に導かれたことを感謝します。今回は、今までとは少し違った雰囲気の中、大変意義のある大会でした。また、敬和学園の創立過程をお聞きし、祈りの中に学園が設立され、導かれている学園に感動しました。各朝祷会も若い世代へのバトンをつないで参りましょう。(編集室)

<b>編集室 連絡先</b> 朝祷会全国連合事務局 〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26-47 (一財)大阪クリスチャンセンター内	<b>[TEL]</b> 06 (6762) 7701 (財団受付) <b>[FAX]</b> 06 (6762) 9885 <b>[E-mail]</b> chotokai@osakachristiancenter.or.jp	<b>[発行人]</b> 山下 佳弘 <b>[編集人]</b> 前岡 義照 <b>[振替]</b> 00930-3-246485 <b>[価格]</b> 一部100円(送料込み)
---	--	---